

北海道原水協ニュース

原水爆禁止北海道協議会 Eメール hokkaidogensuikyo@pearl.ocn.ne.jp
電話011 (747) 7557 fax011 (747) 7537 発行/2020年 5月 15日

私たちの声と行動で 被爆者とともに 核兵器のない世界を

道内網の目・網走コース

⇒ 5月11日 北見市へ

通し行進者のいない中、平和行進網走コースは、11日網走市から大空町、美幌町を経由し、北見市に引き継がれました。

地元実行委員会の佐々木・木村・大原の3氏で横断幕、ペナントなどのグッズを持参して、北見市、北見市教育委員会、訓子府町と置戸町を訪問しました。自治体ではペナントに記入してもらいながら懇談しました。訓子府町は菊池一春町長、置戸町で井上久男町長に、「今年は8月の世界大会はオンラインになりますが、引き続き核兵器完全禁止に向けてご協力を」など、和やかに懇談しました。

午後1時にJR北見駅前革新懇と共同で、20名が横断幕を掲げながらスタンディング行動を行いました。佐々木秀之北見原水協副理事長がマイクで「ヒバクシャ署名をさらに広げ、核兵器禁止の実現を」訴えました。



高橋克博・北見市会議長の署名が届く

署名は4月16日付、協力のお願いが届いてすぐに署名したようです。

村椿哲朗・当麻町新町長が署名／ 網走コース最終日の5月14日、今年1月の町長選で当選した当麻町長がヒバクシャ国際署名に賛同しました。前町長も署名済みなので、道内の首長の署名賛同自治体は変わらず148自治体(167人)です。

名寄市西条デパート前でスタンディング

★ 幹線コース・名寄 ★

5月13日(水) 14時からスタンディングを行い川村幸栄議員はじめ3人が訴えました。こういう時期なのであまり声かけはしませんでした。11人が参加しフラッグなど赤信号で止まった車からの注目を集めました。

■幹線コース・千歳 自治体訪問のあと、市役所前でスタンディングを行います

■日本海南コース・小樽

5月27日(水) 午前10時30分～小樽市長・議長・教育長への申し入れ
午後5時30分～核兵器廃絶を求めるスタンディングを行います

“平和行進実施要綱の北海道マップ”

5月14日千歳市の秘書課から、「千歳市は毎年賛同募金に協力しているのに網かけしていない」と問い合わせがありました。2015年千歳市長は3月の年度末と4月の市長選挙の前で超多忙な折でしたが、署名に賛同し2015年NPT再検討会議国際共同行動の際に国連に提出した経過を説明して、あらためて国内外の被爆者9名の呼びかけたヒバクシャ国際署名への協力をお願いしました。北海道マップの網かけは、署名への賛同を反映しています。

